

2014年  
5月号



# Mini-WAN

～三河港湾事務所だより～



## 太田国土交通大臣が三河港を視察しました

4月19日（土）、太田昭宏国土交通大臣が東三河地域を訪れ、三河港など数か所を視察しました。

視察には太田大臣の他、豊橋市をはじめとする東三河地域の各首長や地元選出の議員の方々も同行されました。

新東名高速道路・設楽原PA（仮称）建設現場を視察後、三河港に移動し、今年度より始まる神野地区ふ頭再編改良事業の現地を視察しました。

この事業は、施設の老朽化への対応や岸壁延長不足の解消、地域住民の安全安心の向上を図ることを目的として、平成26年度～平成29年度に約50億円をかけて神野地区7号岸壁（水深12m）の延伸及び耐震化を行うものです。耐震強化岸壁を整備することで、震災時における緊急物資輸送に必要な陸揚施設が確保され、自動車輸出入の拠点である三河港の物流機能の維持・継続が可能になります。

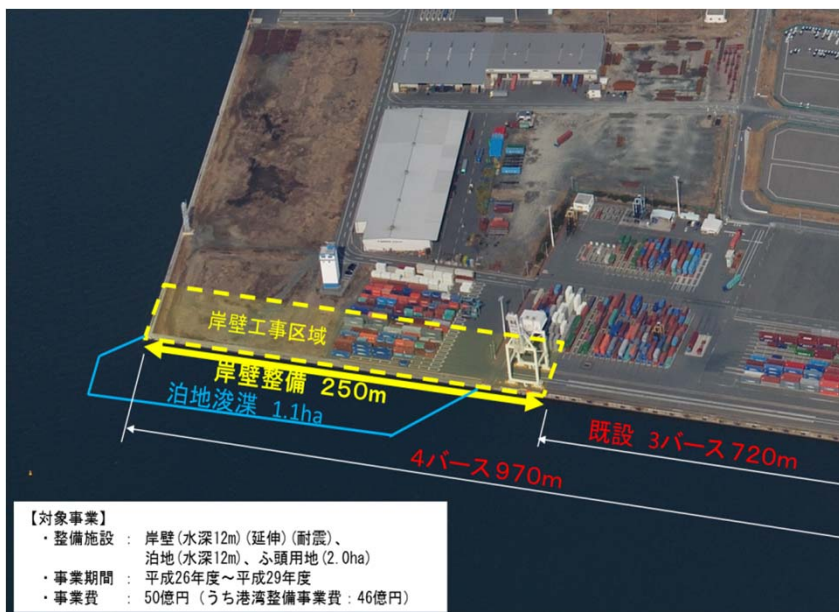
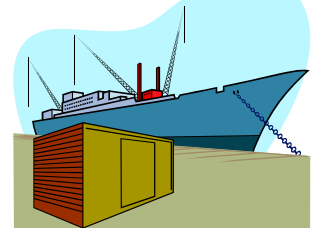
太田大臣は7号岸壁で説明を受けた後、港内にある輸入自動車整備工場や、豊橋市などが出資している第三セクター「サイエンス・クリエイト」が実証実験を行っている豊橋市内の植物工場も視察しました。



▲ 山根副局長から太田大臣への説明

視察後に開催された大村愛知県知事や東三河地域の首長、地元経済界との懇談会では、「東三河地域は農工商において、また山、陸、海でもポテンシャルが高く、未来が語れる地域である」といった太田大臣からの心強い発言もありました。

物流を担う三河港は、地域の発展にとって欠かすことのできない拠点のひとつです。三河港湾事務所は地域の発展に寄与できるよう、引き続き港湾整備事業の進捗に努めます。



【対象事業】

- ・整備施設：岸壁（水深12m）（延伸）（耐震）、泊地（水深12m）、ふ頭用地（2.0ha）
- ・事業期間：平成26年度～平成29年度
- ・事業費：50億円（うち港湾整備事業費：46億円）

▲ 7号岸壁の整備イメージ



## 韓国海洋科学技術院(KIOST)港内視察

4月9日、韓国海洋科学技術院（KIOST）より7名の方が三河港を視察されました。KIOSTでは韓国で浮棧橋※の維持管理についての研究をしており、日本での浮棧橋の管理状況を把握するため、まずは蒲郡市内にあるバリアフリーに配慮した浮棧橋「マンボウ」を視察しました。その後、当事務所港湾業務艇「しおさい」で三河港の港内視察を行いました。

「マンボウ」は施設の利用上の利便性及び安全性を向上するためスロープ等を設けた特殊な浮棧橋ということもあり、施工方法やメンテナンスの状況、維持管理マニュアルの有無など熱心に質問されていました。

港内視察では、三河港内にある施設の立地状況やアサリで有名な六条干潟について当事務所長の鈴木から説明を受け、こちらも深く興味を持たれていました。

※浮棧橋…潮位の干満に合わせて上下する仕組みの、船の係留施設。



浮棧橋「マンボウ」

## 中部みなとオアシス連絡協議会開催



協議会の様子

4月16日、「中部みなとオアシス連絡協議会（以下「協議会」）」が国土交通省中部地方整備局丸の内庁舎で開催されました。

協議会では、昨年度行われたイベント活動や役員改選、みなとオアシス認知度向上のための勉強会について話し合いが行われました。具体的には今後の勉強会で、各みなとオアシスの連携強化を図るため各々が実施しているイベント業務などの取り組みを報告していくというものです。

また、協議会では「全国のみなとオアシスで取り組まれている活動状況を確認してはどうか」、「施設見学をしてはどうか」という意見もありました。

各みなとオアシスや、開催されるイベントがより良いものとなるよう、当事務所は積極的に支援していきます。

## 三河港湾ぎャラリー



作品No.21 航海を見守る  
(伊勢湾海上交通センター)

## 海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おいに よくなれ みなと  
0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00

(土・日・祝祭日を除く)

※一部の地域を除きます。

国土交通省  
中部地方整備局



三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1  
TEL 0532-32-3251 FAX 0532-32-5049

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地  
TEL 0569-21-2311 FAX 0569-21-2312

<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>